

文化芸術版 第2回 仙台ラウンドテーブル Round-Table 「(県美問題を手掛かりに) 文化芸術によるまちづくりを考える」

現在、宮城県内での文化芸術施設の再編が注目を集めています。計画の是非を巡って、多くの県民市民がまちの未来を憂い、より良い着地点を望んでいるように思えます。様々な立場の当事者が自分の言葉を重ね合える、「行政や市民に開かれた議論の場」があるべきだと考えました。

第二回目となる今回は、文化芸術施設の立地を中心に、「文化芸術によるまちづくり」を考えます。建築関係者・文化芸術関係者・経済界・まちづくり関係者・文化施設関係者・施設利用者など…、この問題を巡る当事者たちが集い、市民意見の広がりや中心が何処にあるかを探り出します。

「仙台ラウンドテーブル」は「私たちのまち・私たちの社会」を考える、誰にでも開かれた場です。多様な立場の市民が一堂に集い、様々な視点で議論を展開します。

□挨拶 趣旨説明

Round Table ラウンドテーブル (10分) 13:00 ~ 13:10

□第一部：文化政策の視点から見た文化芸術の場づくり (210分) 11:40 ~ 13:40

保存・建築関係者の視点 × 文化施設の視点 × 施設利用者の視点 (120分) 13:10 ~ 15:10

ファシリテーター：手島 浩之 / 日本建築家協会宮城地域会

板垣 幸寿 / 鳴子温泉郷 山ぶところの宿みやま館主

伊藤 達也 / 東京都美術館

大沼 正寛 / 東北工業大学ライフデザイン学科教授

小野田泰明 / 東北大学大学院工学研究科工学部都市建築学専攻教授

佐々 瞬 / アーティスト

佐藤 慎也 / 日本大学理工学部建築学科教授

関本 欣哉 / キャラクター・イン・アROUND

高橋 直子 / 宮城県建築士会

安田 直民 / 日本建築家協会宮城地域会

吉川 由美 / ダ・ハプランニング・ワーク代表取締役

： 会場との意見交換1 (20分) 15:10 ~ 15:30

□第二部：都市力の視点から考える文化芸術の場づくり (120分) 15:30 ~ 17:30

経済界の視点 × 文化芸術の視点 × まちづくりの視点

ファシリテーター：柳原 進 / 都市デザインワークス代表理事

石井 光二 / 一般社団法人まちくる仙台代表理事

河村 和徳 / 東北大学大学院情報科学研究科准教授

坂口 大洋 / 仙台高等専門学校総合工学科教授

柴田 治 / アトリエ光彩舎

谷 徳行 / 仙臺伝統裸参り保存会会長

西大立目祥子 / フリーライター

増田 聡 / 東北大学経済学部教授

水戸 雅彦 / えすこホール前館長

村上タカシ / 美術家 国立大学法人宮城教育大学准教授

矢部 亨 / 矢部園茶舗代表取締役

横山 英子 / あとろえ横山代表

： 会場との意見交換2 (25分) 17:30 ~ 17:55

□閉会挨拶 (5分) 17:55 ~ 18:00

※登壇者は2020年1月13日現在の予定です。急な都合により変更する場合があります。登壇者のお名前は五十音順にて記載しています。

せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア

令和二年1月25日(土)
13時00分～18時00分

入場無料・登録不要
どなたでも参加できます。

主催：

(一社) 宮城県建築士事務所協会

問合せ：T: 022-223-7330

(公社) 日本建築家協会東北支部宮城地域会

問合せ：T: 022-225-1120

後援：(一社) 宮城県建築士会